

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0176400018		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム 萌		
所在地	北海道留萌市開運町1丁目2番10号 (電話) 0164-49-2258		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月8日	評価確定日	平成21年8月4日

## 【情報提供票より】(平成21年6月17日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年9月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛 メッキ銅板葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,300~18,900 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	252 円	昼食	305 円
	夕食	388 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 1,050 円			

### (4) 利用者の概要(6月17日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 83.8 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	留萌市立HP 川上内科 菊田歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から7年経過した留萌管内で初のグループホームで利用者がホームでの生活に幸せを感じる事が出来るような「居心地が良い生活の場」を提供できるよう法人全体で支援しています。また、当初は共同生活が難しい利用者も時間をかけて、全員があきらめない取り組みにより、生き生きと生活されている方もいらっしゃいます。法人は職員教育にも力を入れ、新人研修、内部研修を充実させており、外部の研修への参加を奨励したり、職員の資格取得を奨励し、管理者や職員を育てる取り組みがなされています。新人指導にプリセプターシップを取っており、先輩職員が責任を持って指導にあたり、法人全体でケアの質の向上に取り組んでいます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題は、運営推進会議の定期的な開催でしたが、2カ月に1回の実施には、まだ至っていません。今後は、メンバーの予定など実施が困難な状況ではありますが、定期的に運営推進会議を開催する事を期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価について、管理者、職員は評価の意義を理解し、運営向上委員会などを通じて具体的に日々取り組まれています。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告されそこでの意見が運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在1回実施されています。議題は ホームでの安全な生活について 口腔管理・マウスケア・整容について 外出・散歩について 利用書が自信を保った生活を送る取り組みについて 事業所への要望・意見について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「家萌里新聞」・「もえからのお手紙」を毎月発行して、日常の生活での印象的な様子を具体的に記載して家族に伝えており、認知症コラムを掲載し、認知症への理解が図られるように取り組んでいます。利用者の健康状態や金銭の管理についても出納明細が毎月家族に報告されており、来訪時には、意見や苦情を言い易い様な雰囲気作りに努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常の町内の散歩や近隣商店街での買い物の際に交わされる挨拶などで地域の方々と馴染みの関係を作り、町内会と共催した合同盆踊りやどんど祭りの踊りや出店で地域貢献を図っています。また、かもめ幼稚園との交流会や実習生やボランティアの受け入れなど日常生活を通じて取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念をもとに、介護理念及び具体的なグループホーム独自の年間目標をつくり、日々、個人目標を立て取り組んでいる。また運営向上委員会で職員間の情報の共有が図られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の重要性を朝の引継ぎ時に唱和して共有している。理念達成のための具体的な年間目標を立て取り組んでおり、職員は、それぞれのその日の目標を立て従事しており、常に理念の実践に向けて取り組んでいる。		法人内のグループホームの役職者で構成される運営向上委員会を立ち上げ、内部監査を実施して、それぞれのホームの良い点や改善点を見出し、内容を検証してケアサービスの質の向上に反映されるように取り組んでいる。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常の町内の散歩や近隣商店街での買い物などの際に交わされる挨拶で地域の方々と馴染みの関係を作っており、町内会と共催した合同盆踊りやどんど祭りの踊りの参加や出店でも地域貢献を図っている。また、かもめ幼稚園との交流会や実習生やボランティアの受け入れなど日常生活を通じて取り組んでいる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価について、管理者、職員は評価の意義を理解し、運営向上委員会などを通じて具体的に取組まれている。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告されそこでの意見が運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、本年度 評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、町内会役員、留萌市介護保険課職員、消防署の職員、協力医、管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。		今後は、メンバーの予定など実施が困難な状況ではありますが、定期的に運営推進会議を開催する事を期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	留萌市の介護保険課の職員が、運営推進会議に委員で参加し、気軽に相談できる関係が築かれている。また、管理者が包括支援センターの会議に参加するなどして、市と協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「家萌里新聞」や「もえからのお手紙」を毎月発行して、日常の生活での印象的な様子を具体的に記載して家族に伝えており、認知症コラムの記事を掲載し、認知症への理解が図られるように取り組んでいる。また、利用者の健康状態や金銭の管理についても出納明細が毎月家族に報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に、意見や苦情を言い易い様な雰囲気作りに努めており、家族から出された意見や苦情は全職員で話し合い、改善策を速やかに家族に報告している。また、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができ、それらを運営に反映される体制が整っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、及び管理者は職員が長期間に渡って勤められるように仕事上の悩みや相談事を極力聞くように心掛けており、馴染みの職員と利用者の信頼関係を大切に考えている。異動や離職した場合は、ホームだよりの「もえからのお手紙」で家族に報告している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の年間研修、新人研修、地域研修の他、内部研修を充実させており、外部の研修への参加を奨励したり、職員の資格取得を推進するなど管理者や職員を育てる取り組みがなされている。また、新人指導にプリセプターシップを取り、先輩職員が責任を持って指導にあたっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内では、グループホーム運営向上委員会で他施設と協力や市内のグループホームとの交流も図られており、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、実践者研修、ヘルパー研修の受け入れに取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、家族とよく相談しながら利用前にホームを見学してもらうなどして、利用者の不安が無いように配慮し、納得してサービスが利用できるような相談しながら取り組んでいる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴や習慣を把握し、体調や力量を見極めて、日常の生活する中でその人らしい生活が実現できるように支援している。職員と一緒に食事の準備や掃除、洗濯、食事前の挨拶や音楽療法参加など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向を大切にして、家族への絵手紙や散歩、近隣の商店での買い物、外食などの外出支援や盆踊りや音楽療法への参加などの取り組みが行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、担当者を決めて、話し合いの中でニーズが明確になるように書式を使って具体的に行っており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、意見を取り入れた具体的な介護計画の内容となっている。また、内容は法人内の運営向上委員会の評価も受けている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院の支援や散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、音楽療法への参加や医師・歯科医師の往診などにも対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて支援しており、医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期にも可能な限り対応している。医療機関と連携して利用者・家族とも繰り返し相談し合いながら慎重に検討し対応する取り組みがなされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけの対応が行われており、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや希望、意向を尊重して、散歩や買い物、食事の準備や掃除、音楽療法や歌唱への参加、折り紙による作品作りなどの趣味への支援が行われている。また、夜に見たいテレビ番組がある場合などは録画して昼間に見れるように工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っており、献立については利用者の好みや希望をメニューに反映させている。また、一人ひとりの体調に合わせて調理方法を工夫し、外食の機会もつくり食事が楽しみごとになるように工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に添えるように、いつでも入浴可能な体制にしており、安眠支援が目的の夜間浴も実施されており、時には、足浴も取り入れられている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かし、観葉植物の世話や絵手紙、歌唱、掃除、調理や食事の準備・後片付けなどの役割ごとや外食や買い物、散歩、ドライブなどの外出機会も多くつくり気分転換を図っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や商店での買い物、盆踊りやホーム行事への参加、ラーメン・焼肉などの外食など気分転換ができるように外出の支援が取り組まれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、利用者が自由に外出できる取り組みがされ職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命が実施されている。また、緊急避難先の確保や緊急連絡体制も整備されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が把握され、栄養バランスや塩分、カロリーについてもおおよそ把握されている。また、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて食事の準備や後片付けを行っており、一人ひとりの体調に合わせた食事も提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感が漂い利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。玄関入り口には、プランターで花が飾られたり、共用空間には、職員が会議に使用したり、利用者がゲームやレクリエーションに使用できる広い空間も用意されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や掛け軸、タンス、ソファ、ベットなどの使い慣れた家具や観葉植物などが飾られ一人ひとりが居心地よく過ごせるように工夫されている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。